

浜田キャンパス

平成21年度 公立大学法人島根県立大学
地域連携推進センター浜田キャンパス運営会議 名簿

(任期:H21.4.1~H22.3.31)

職名	氏名	備考
教授	林 秀司	・地域連携推進センター副センター長 ・地域連携コーディネーター(文化・景観)
教授	田嶋 義介	・委員(公開講座部会長) ・地域連携コーディネーター(市民活動・運動)
准教授	魁生 由美子	・委員(情報発信・PR担当) ・地域連携コーディネーター(社会福祉)
准教授	松永 桂子	・委員(自治体連携担当) ・地域連携コーディネーター(産公学連携)
講師	松田 善臣	・委員(高大連携担当) ・地域連携コーディネーター(産公学連携)
教授	井上 定彦	・浜田キャンパス運営会議アドバイザー ・地域連携コーディネーター(NPO) ・地域連携推進センター長
教授	今岡 日出紀	・浜田キャンパス運営会議アドバイザー
教授	井上 厚史	・地域連携コーディネーター(ボランティア)
准教授	沖村 理史	・地域連携コーディネーター(環境問題)
研究企画課長	島田 成毅	・委員
主任	藤原 秀樹	
主事	上田 英和	
嘱託	竹根 美雪	

地域連携推進センターの3年目を終えて

平成21年度は、地域連携推進センター発足3年目となり、統合・法人化後最初の中期計画の後半に向けて、本格的始動の年と位置づけられた。浜田キャンパスでも体制整備と具体的な活動の展開を試みている。地域連携コーディネーターは、従来から配置してきたが、平成21年度も8名のコーディネーターを配置した。それに加えて、内部的な課題ではあったが、地域の皆さんや行政からの相談を受けた際の対応手順も整えていった。これらが十分に機能しているとはまだまだ言い難いところもあるが、それでも、キャンパスの教員に呼びかけ、平成22年度に向けて、島根県や浜田市からの委託研究・事業などを受けることができた。これからも、地域からの相談は、積極的に教員や学生たちに（場合によっては他キャンパスや学外へも）つないでいきたい。また、「島根地域政策支援のための大学の役割と可能性に関する研究会」（会長：吉塚徹特任教授）が数回にわたって開催され、行政関係の方はもとより、NPO等で活躍されている市民の方の参加も得た。いずれは、地域連携推進センターが中心となって、地域の皆さんと教員が集う場を提供していかなければならないのではないかと思う。

公開講座は、「地域文化とまちづくり」「北東アジア地域における経済関係」の2講座について、年間を通して開催した。「地域文化とまちづくり」は、浜田キャンパスの教員4名に松江キャンパスの教員2名、外部講師2名を交えて、重要な地域的課題であるまちづくりについて地域文化を活かすという観点からアプローチした。「北東アジア地域における経済関係」は、浜田キャンパスの教員7名が担当し、北東アジア地域研究を研究・教育のひとつの柱とするキャンパスの特徴がよく出た講座になったと思う。また、春学期には「本のチカラ」と題した本の魅力を語る講座を、秋学期には松江キャンパスが主体となったキャンパス連携講座「早期発達支援ブラッシュアップ講座」を開催した。また、いくつかの出張講座や江津市教育委員会と連携した地域連携講座（桜江大学）なども開催した。これからは、公開講座の開催についても地域との連携が重要になってくると思われる。

第7回を迎えた「地域振興に関する提言を含む優秀卒業研究・論文の発表会」は、例年どおり、卒業式を前日にひかえた3月18日（木）に、本学交流センターコンベンションホールにおいて開催した。残念ながら、大学院の修士論文の発表はなかったが、学部の卒業研究論文5編が発表された。地元浜田市にはこの発表会を後援いただき、平成19年度からは浜田市長賞も授与いただいている。このように地域の支援を得た卒業研究発表会もまた珍しいのではないだろうか。ふだんよりご支援いただいている地元地域に対して、少しでもお返しできたならば幸いである。

大学の直接的な社会貢献が求められる昨今であるが、じつは、浜田キャンパスにおいても、すでに少なからぬ教員が研究や教育の一環として地域に出かけ活動しているのではないだろうか。学生たちが地域で活動している姿もしばしば目にする。それらの情報を、内部的には共有し、地域の皆さんに発信していく必要も感じられる。ささやかなことではあるが、ホームページの見直しにも着手している。

なにはともあれ、できることから着実な歩みを進めていきたい。

地域連携推進センター副センター長 林 秀司

棚田ワークショップ

島根県浜田県土整備事務所より中山間ふるさと水と土保全推進事業の棚田ワークショップを受託、実施した。これは、浜田市旭町都川地区、同来尾地区、三隅町室谷地区の3か所について、地域の将来像を明確にし、棚田の適切な保全管理に必要な地域活動の展開方向を見出すことを目的としたものである。2年間をかけて実施される予定であり、平成21年度は、それぞれの地区で2～3回のワークショップを実施した。その他に、都川地区では都川秋祭り（10月21日（水））への参加、来尾地区では棚田散策ウォーキング in 来尾（11月15日（日））への参加、室谷地区では資源調査の実施（11月28日・29日）を行った。実施にあたっては、本学教員2名がコーディネーター（都川地区は井上厚史教授、来尾・室谷地区は林秀司教授）となり、学生数名がスタッフとして参加した。ワークショップでは、地域住民の参加、協力を得て、地域の課題を整理し、地域の良いところ探し出した上で、将来の目指したい地域の姿を描いていった。

実施状況

都川地区

開催日：7月25日（土）、10月7日（土）

場所：高齢者センター（旧都川小学校）

来尾地区

開催日：年9月25日（金）、9月18日（水）、3月9日（火）

場所：市木生活改善センター

室谷地区

開催日：8月8日（土）、11月30日（月）、2月15日（月）

場所：上室谷集会所



ワークショップのようす

（左 来尾地区，右 室谷地区）

公開講座等の取り組み

島根県立大学では「地域と共に歩む大学」の一環として公開講座を開催している。

平成21年度の公開講座「21世紀・地球講座」は4テーマ、22講座を設定し、そのうち2テーマ（「地域文化とまちづくり」及び「北東アジア地域における経済関係」）は、春学期から秋学期にわたり開催した。

①「地域文化とまちづくり」

まちづくりを進めていく際に、地域の文化もひとつの資源となることを踏まえ、伝統芸能、芸術文化、食文化など、多様な地域文化に着目して、6名の本学教員と2名の外部講師を招いて開講した。土曜日開催を行った2講座については、平日開催に比べて受講者が減る結果となったが、全体で180人の受講者を得ることができた。

②「北東アジア地域における経済関係」

1990年代以降、経済の高度成長を持続させている中国と急激な経済成長を遂げているロシア極東地域に、2008年のサブプライムローンに端を発した金融恐慌（経済危機）は、どのような影響を与え、またその地域はどのように対処したのかを本学教員7名が日頃の研究成果をもとに報告した。



「北東アジア地域における経済関係」の様子

③「本のチカラ」

読書の魅力を伝えることを目的に「無限に広がる本の世界」や本の利用方法など、多様な切り口で読書の楽しさを伝える講座を目指した。図書館司書の講座や市民参加型の講座を開催したこともあり、幅広い年齢層の方々に参加をいただいた。



「本のチカラ」の様子

④「早期発達支援ブラッシュアップ講座」

松江キャンパスとの連携講座として開催した。これまで短大部教員が講師をつとめる講座は続けてきたものの、今回のように短大部のシリーズ講座を開催することは初めてであり、浜田キャンパスにはない専門分野ということもあり、近隣市町の方にも多数の参加をいただいた。

【地域連携講座】

公開講座は大学を会場とすることが多く、広く地域住民の参加を推進することが難しい状況がある。このことから、周辺自治体と協同して公開講座を開催することで、広報の充実、地域ニーズの把握、受講機会の創出など、より地域の要望に応える講座開催を目指した取り組みである。

平成 21 年度は、江津市教育委員会と同市桜江町公民館と協力して 2 講座を開催した。

第 1 回

日 時：平成 21 年 6 月 25 日（木） 10：00～12：00

講座名：「韓流大衆文化の情熱と哀切—韓国ドラマ・映画・歌謡—」

講 師：魁生由美子（島根県立大学総合政策学部 准教授）

会 場：江津市立谷住郷生涯学習センター

参加者：40 名

第 2 回

日 時：平成 21 年 8 月 28 日（金） 10：00～11：45

講座名：「韓国の TV ドラマと映画作品に韓国社会と人々の変化を観る」

講 師：瓜生忠久（島根県立大学総合政策学部 教授）

会 場：江津市立川越生涯学習センター

参加者：53 名

【出張講座】

本学指定の講座担当教員が、学外からの依頼に応じて、島根県内の地域に出向いて開催する講座のことで、生涯教育の推進はもとより、島根県立大学の研究・教育成果の還元を行うことで広く地域の方に島根県立大学に興味を持ってもらうため、県内各地域に本学指定講座の担当講師が赴いて講義を行った。

今年度は 8 団体からの依頼を受けて 6 講座を開催した。そのうち奥出雲町で開催した出張講座では、初の試みとして、3 キャンパスの教員によるオムニバス形式の「3 キャンパス合同出張講座」を開催した。



「3 キャンパス合同出張講座」の様子

地域振興に関する提言を含む優秀卒業研究・論文の発表会の取り組み

本発表会は平成 15 年度から数えて第 7 回を迎えた。今年は学部卒業研究 10 点、修士論文 1 点の推薦があり、この中から担当指導教員の推薦に基づき地域連携推進センターで査読評価を行った。

今回の表彰対象となった研究は、電力対策や農業、外国人研修など現代社会のホットなテーマに対して正面から取り組んでおり、地域や国際社会の問題発見と解決能力の養成を掲げる本学総合政策学部の教育趣旨に沿ったものであり、今回の卒業研究・論文の成果を高く評価したい。今回表彰対象の研究も、浜田市をはじめとする市民の皆さんにご協力をいただければここまでの成果は得られなかった。感謝申し上げる。

また、今年度も、浜田市から特に優秀な研究をした学生に浜田市長賞をいただいた。全国的に見ても大学の教育活動に市が密接にご協力いただけるのは極めて珍しい。学生生活期間中にお世話になった市からこのような形で評価をいただくことは、学生の今後の人生にとって大変な励みになると思っている。

今後も市との連携を深めながら、大学における教育活動の活性化を図って行きたい。

発表会の概要は以下のとおり

- ・日 時：平成 22 年 3 月 18 日（木）13：00～15：30
- ・場 所：島根県立大学交流センター2 階コンベンションホール
- ・後 援：浜田市
- ・発表者：

発表 1	『『銀山街道』の地域ブランドとしての可能性』	出雲正樹	13:25 ～13:45
発表 2	「低炭素社会の実現に向けた電力対策～島根県を中心として～」	島谷明邦	13:50 ～14:10
発表 3	「21 世紀型農業～環境保全型農業をモデルとして～」	藤原あかね	14:15 ～14:35
発表 4	「屋久島におけるエコツーリズムの必要性とその在り方」	町田 雄	14:40 ～15:00
発表 5	「外国人研修・技能実習制度—島根県での運用から見えてきたもの—」	松岡福子	15:05 ～15:25



奨励賞を受賞されたみなさん

高大連携の取り組み

島根県立大学と島根県立浜田高校及び島根県立江津高校とはそれぞれ平成 16 年、平成 19 年に高大連携包括協力協定を締結し、相互の特色を活かした連携活動を行っている。

【島根県立浜田高校】

H16. 11. 18 高大連携包括協力協定を締結、連携事業（出張講座、ゼミ開放、教育実習生の受け入れ、学生交流など）を継続的に実施

平成 21 年度の活動状況

H21. 6. 12 大学見学会（今市分校 1 年生 10 名参加）

H21. 6. 15 高大連携推進会議

H21. 10. 28 大学見学会（模擬授業体験含む）（1 年生 224 名参加）

H21. 12. 9 ゼミ（総合演習Ⅱ）体験（2 年生 9 名参加）

【島根県立江津高校】

H19. 6. 1 高大連携包括協力協定を締結、連携事業（出張講座、ゼミ開放、英語授業開放、学生交流など）を継続的に実施

平成 21 年度の活動状況

H21. 6. 10 高大連携推進会議

H21. 6. 18 大学見学（3 年生 47 名参加）

H21. 7. 9 大学授業体験（2 年生 99 名参加）

H21. 12. 9 ゼミ（総合演習Ⅱ）体験（普通科 2 年生 10 名参加）

H21. 12. 10 イングリッシュワークショップⅡ体験（英語科 22 名参加）



模擬授業の様子



ゼミ体験の様子

大学生による中学校学習支援事業の取り組み

島根県立大学と浜田市との連携協力協定（H19.5.18締結）に基づき、平成19年度から中学生の学力向上を目的として浜田市内の中学校に学生（学習支援員）を派遣し、生徒の勉強を支援している。

週1回2時間程度、放課後の時間を利用して、プリント学習等で生徒が解けなかった問題を中心に教えている。

年々参加する学生が増え、平成21年度は延べ201人がこの事業に従事した。

生徒と年齢が近いこともあり、勉強だけでなく、いろいろな悩みの相談なども受けているようである。

【派遣先】

- ・浜田第一中学校（平成19年度～）
- ・浜田第二中学校（平成19年度～）
- ・浜田第三中学校（平成19年度～）
- ・浜田東中学校（平成20年度～）
- ・金城中学校（平成20年度～）

【派遣実績】

- ・平成19年度：6名、延べ93名
- ・平成20年度：11名、延べ128名
- ・平成21年度：14名、延べ201名



学習支援の様子

第2回オープンキャンパスに初出展

地域連携の活動を広く知ってもらおうと、平成21年9月20日（日）第2回オープンキャンパスに「地域連携推進センターの活動紹介」ブースを設置した。

本学教員や学生が地域で行っている活動をはじめ、全国各地から来る高校生や保護者の方々に、大学のある島根県石見地域について広く紹介した。

活動紹介パネルの一部



(西条柿加工品の試食調査)



(三隅町室谷での交流体験)



(里山レンジャーズの活動紹介)

「あさひ盲導犬訓練センター」の紹介コーナーでは、本物の盲導犬と触れ合いながら、盲導犬への理解が深まるようにPRを行った。



島根県西部県民センターの協力を得て、石見地方の観光地や伝統芸能も紹介した。

